令和８年度　市内地下水等におけるPFAS（有機フッ素化合物）の調査結果

【調査日】令和８年８月 31 日（月）

【調査地点】市内の井戸（地下水）から 10 地点
※昨年度とは異なる地点で調査（１地点を除く）

【調査項目】PFAS の内、国による指針値の定めがあるPFOS及びPFOAならびに要調査項目に位置付けられているＰＦＨｘＳ

【調査方法】
PFOS 及び PFOA　：令和２年環水大水発第 2005281 号付表１に掲げる方法
PFHxS　：環境基準健康項目専門委員会（第 19 回）資料３別紙６に掲げる方法

【調査結果】PFOS 及び PFOA の合計値について、環境省の定める指針値を超える地点が１地点ありました。なお、他９地点については、全て指針値の 50ｎｇ／Ｌを下回りました。

※PFHxS については国等で示される指針値や目標値はありません。

調査地点	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS・PFOA 合計値 (ng/L)	PFHxS (ng/L)
伝地頭井戸	18	50	68	3.7
熊川①	17	8.2	25	1.6
熊川②	4.4	4.6	9	1.4
福生①	ND	ND	ND	ND
福生②	4.5	4.7	9.2	0.6
福生③	4.7	10	14	1.9
福生④	4.5	6.7	11	0.9
福生⑤	11	8.4	19	5
牛浜①	12	8.6	20	1.8
加美平①	6.3	9.1	15	0.8

※本調査は「PFOS 及び PFOA の合計値」について、定量下限値を 0.3ng/L、有効桁数２桁で処理しているため、合計値が必ずしも「PFOS」と「PFOA」の和と一致しません。
※ND：定量下限値未満